

## 日本大学松戸歯学部附属病院での医療的ケア児に関する取り組み

### 【施設概要】

- 1976年 「特殊歯科」として障害者歯科診療を開始。
- 1995年 「摂食嚥下リハビリテーション外来」の開始
- 1998年 高齢者施設、障害者施設（重心施設）への訪問による歯科診療の開始
- 2019年 在宅訪問診療における歯科治療および摂食嚥下リハビリテーションの提供開始

### 【支援状況】

- ① 外来での歯科治療：月～金（9時～17時）、土（9時～13時）
- ② 摂食嚥下外来（水のみ9時半から16時）
- ③ 訪問診療歯科診療および摂食指導（月～土、時間は要相談）
  - ※必要に応じて、利用されている事業所への口腔ケア指導ならびに摂食指導
  - ※嚥下内視鏡検査実施
  - ※嚥下造影検査については、4月以降再開予定（未定）
- ④ 摂食嚥下研修会（月1回）参加申し込みが必要
- ⑤ 子供発達センターでの摂食嚥下指導（松戸歯科医師会と共同）
- ⑥ 特別支援学校や重心施設への摂食指導
- ⑦ 摂食関係連絡協議会の開催

特殊歯科受診総数（訪問も含む）と松戸市在住の方の割合の推移

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
総数	10,919	8,756	10,427	10,763	10,489	8,489 (12月)
松戸市 在住	37%	38%	39%	37%	38%	38%

松戸市内の18歳未満の障害者手帳取得者の約34%が特殊歯科を受診されていると推定  
東京都の報告では18歳未満の大学病院への歯科受診は約8.5%となっており、本学での障害児の受け入れ状況は高いが、松戸市内に埋もれている患者さんがまだいる可能性も高い。今後実態把握を進めたい。

### 【訪問新診療について】

希望者は徐々に増加し、より充実化を図るため、**2025年4月より地域連携包括歯科センター**が新たに設置される。特殊歯科だけでなく小児歯科、補綴科（義歯）、口腔外科（抜歯）、麻酔科（全身管理）も含めて多様な

訪問に対応できるようにこの1年で研修を積み稼働し始めている。

現在月60名程度の訪問診療を行っているが、9割が医療的ケア児である。16km圏内が原則だが、摂食指導の場合は圏外でも行っているため、診療圏は、東京（上野近辺）浦安、越谷、我孫子、鎌ヶ谷などにおよぶ。30%の20名前後が松戸在住の医療的ケア児。松戸市内の医療的ケア児が80名前後であるため、まだまだ歯科医療を享受できていないお子さん達が多いと思われる。今後も松戸歯科医師会と協力して、多くのお子さん達の支援につなげたい。そして、より充実した歯科医療の提供のために、他職種との連携をはからせていただきたい。